富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信

Vol.40

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1　TEL 0555-73-2511　FAX 0555-73-2513　http://kawako-dosokai.net/

母校の発展と地域に貢献できる同窓会に

同窓会会長
伊東貴也（第6期）

富士河口湖高校同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本会活動へのご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

令和4年7月2日に開催されました「富士河口湖高等学校同窓会総会」において同窓会会長の三浦信先輩がご勇退されることに伴い第9代目同窓会会長を拝命いたしました6期生の伊東貴也と申します。同窓会会長就任にあたりこれまでの同窓会の基礎を築いてくださった歴代同窓会会長をはじめ理事役員の皆様、並びに学校関係者のご尽力に対しこの場をお借りして心から感謝を申し上げます。

さて、私たちの母校である富士河口湖高校は、1977年4月まだ冷たい風が吹く樹海の中、またグランドにはまだ沢山の石ころが転がっている中で開校し、今春で44期生が卒業、47期生が入学いたします。開校当初は「新設校」と呼ばれ自然に囲まれた落ち着いた環境というプラスのイメージと街から外れた場所にあるマイナスのイメージとが交錯していました。しかし昭和・平成・令和という時代を歩みながら43期12,2220名の卒業生の送り出しを重ねるごとに地域の中核的な人材を輩出する拠点として人々の心の中に「河高」が根付いてきたのではないかと思います。

本校同窓会には「会員相互の親睦を深める」「母校の事業を賛助する」「地域文化の発展に貢献する」の三つの目的があり、メインイベントとして卒業から20年目の期生（学年）が当番幹事になり毎年7月に記念行事として講演会や総会、懇親会を開催しております。ところが2019年12月に中国から始まった新型コロナウイルスの影響で2020年（当番幹事22期生）、2021年（当番幹事23期生）の記念行事は社会情勢を鑑みて中止にさせていただきました。旧友との再会を楽しみにしていた同窓生におかれましては残念な気持ちだったと思います。2022年7月は2年振りに記念行事が執り行われました。今年2023年も講演会、総会、懇親会を実行委員長の三浦大祐君、副実行委員長の渡邊遼平君をはじめとする当番幹事の25期生が中心になって実施する方向で動いておりますので、この学び舎で青春時代を過ごした旧友たちと想い出に残る同窓会事業になるよう全同窓生の皆様及び関係者の皆様のご協力を是非お願い申し上げます。

また母校の事業を賛助するため同窓会から学校事業援助金として50万を寄付しマイクロバスやワゴンの維持費や部活動の援助等に使われています。河高同窓会は今後も母校に対する支援を続けていきたいと思います。

最後になりますがNext50周年に向けて同窓会役員一同は富士河口湖高校同窓会会員の絆を深め繋いでいき、母校と地域文化の発展に貢献していきたいと考えています。関係者の皆様方には引き続き温かいご支援とご指導をお願い申し上げ同窓会会長の挨拶とさせていただきます。

新たな富士河口湖高校の創造に向けて

校長
小俣義一

本校同窓会および同窓生の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校発展のために、学校自動車の維持管理や部活動振興等、物心両面にわたり、ご支援とご協力をいただいておりますことに、衷心より御礼申し上げます。

母校の近況ですが、令和4年度は157名の新入生を迎えました。現在は全校生徒492名が、校訓「仰峰不屈　好学愛知　真摯敢闘」の精神のもと、学習面はもちろん、学校行事や部活動等様々な活動に励んでおります。

今年度の部活動の主な成績は、カヌー部が日本スプリントジュニア選手権で個人2名および団体で、見事全国優勝を成し遂げました。また、全国大会には漕艇・カヌー・放送部が出場し、関東大会には剣道・漕艇・カヌー・男子ソフトテニスが出場しました。これからもこれまで先輩方が築かれてきた伝統を受け継ぎ、活躍してくれることと信じております。

さて、山梨県では県立学校の目指すべき学校像等であるスクールミッションを再定義しました。本校では、河高のスクールミッション達成に向け、創立以来の教育方針「心のゆたかな人間を育てる」を目指し、3つのスクールポリシーを定め、日々の教育活動に取り組んでおります。（本校のスクールミッション「富士北麓地域における普通科高校として、自信と誇りをもつとともに、多様な価値観を認めることができる人間性豊かな人材や、生まれ育った地元の中心的な存在となり地域に貢献できる人材を育成し、学習にも部活動等にも励むことができる学校を目指します。」）

今後も、教職員一丸となって、新たな河高の創造に向けて邁進いたしますので、同窓会の皆様には母校の更なる発展のため、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会および同窓生の皆様の益々のご発展とご活躍を祈念申し上げます。

近況報告

大学4年間を通して今思うこと

第40期　永井嵩士

はじめに、私が大学でも競技を続けようと思ったきっかけは、高校選手権での惨敗。だけではなく、受験勉強から逃げたかったからでもあります。当時の先生たちには言えるわけもなく4年越しの告白です。たまたま今の大学に所属していた先輩から声をかけていただき、Rowingへの未練も出来てしまったタイミングだったので、これも縁かと思いRowingでの進学を決意しました。周りの友達が進路に悩む中、なかなか良い大学が決まり一人安心していたのが懐かしく思い出されます。しかし、大学入学後は、受験勉強とは比較にならない過酷な生活スタイルでした。朝四時半に起き練習、その後学校へ行き十八時に帰宅、帰宅後すぐに練習、ご飯を食べて二十二時半には就寝。ここで寝られれば良い方で、学校のレポートが多い日はここから二時までレポート。睡眠時間が二時間という日はザラにあり、周りの大学生がうらやましく感じる日も多くありました。

二年生の時大学選手権で優勝し、自分の中で世界が一気に変わりました。大学入学時に口にしていた日本代表が目の前に見えたのです。そして今年、目標としていたU23日本代表として世界大会に行くことができました。結果は惨敗でしたが、そこまでの道のりが自分にとっての大きな宝になりました。周りを羨ましく思った日もありましたが、自分のした経験、頑張ってきたことが、これからのやりたいことへの選択肢を増やしてくれました。

在校生へ、今後やりたいことが見つかった時に、今の小さな努力が必ず自分自身の選択肢を広げてくれるはずです。日々の**小さな小さな**積み重ねを大切にしてください。

同窓会の皆さんへ、おかげさまで世界大会へ出場することができました。ご支援ありがとうございました。

「同窓会総会に向けて」

第44回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会総会実行委員長
三浦大祐

私は、第44回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会総会実行委員長を仰つかりました25期生の三浦大祐です。まず、同窓会会長始め、役員の皆様、先生方、そして多くのOB、OGの皆様が同窓会総会を続けてきていただいた事、心より感謝申し上げると共にこの活動にご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、我々25期生が富士河口湖高校を卒業して20年経ちました。長いようで短いような濃密な時間を過ごしています。現在私は富士北麓地域に住み富士北麓地域で会社を営み富士北麓地域が大好きです。

河高で学び河高で育んだ時間はとても生活に活かされております。特に人間関係です。数多くの仲間を作ることができ高校を卒業して20年たった今でも気軽に連絡を取り合える仲間がたくさんいます。会社経営でよく思うことは自分1人では何もできないことです。この同窓会総会も数多くの先輩方が繋いできてくれたかけがえのないものです。それを我々は引継ぎながらも変化し、成長させ、より良いものにして次世代につなげていかなければなりません。そのためには人に出会い、人に繋がり、人に協力して、人にお世話になり、人に感謝していく必要があります。

新型コロナウイルスの影響で極端に人との繋がりが断絶され孤立した実感があります。そこで僕たち25期生は人と人とを再度つなげ地域コミュニティの復活を願い、かけがえのない仲間達と一緒に何が良いのか色々考えて作戦立てている状況です。富士北麓地域の人たちを巻き込み、コロナ前の日常を取り戻し、次世代につなげることを目標にしておりますので是非とも多くの皆様にご参加いただけたらと思います。

結びにまだまだ厳しい社会状況ではございますが同窓会の皆様、在校生の皆様、先生方、関係者の皆様には重ねて感謝申し上げますと共に我々25期生は反骨精神のもとこの事業が大成功できるよう粉骨砕身して取り組んでいきますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

現・生徒会長より

「新たな河高を共に」

第46代生徒会長　朝比奈一冴

私は、第46代生徒会長を務めさせていただく朝比奈一冴です。私は生徒一人ひとりが主体となり、積極性のある学校を創っていきたいと思っています。私が学校生活を送る中で、生徒一人ひとりの物事に対する積極性の足りなさを感じ、もっと生徒自らが挑戦できるようにしたいと思い立候補しました。しかし、コロナウイルスの影響で活動に制限がかかり、自分達の思い描く青春を実現できていない現状があります。その中でもまずは、部活動と連携し生徒と挨拶を交わしています。挨拶を交わすことによって生徒同士でコミュニケーションを図ることができ、協力意識が生まれます。

また、私自身、紫光祭や球技大会などの大型行事に力を入れていきたいと思っています。これまでの経験を踏まえ、生徒一人ひとりの意見を尊重して、生徒全員が積極的に仲間と協力して楽しめるようなものを創りたいです。

私は、学校生活や学校行事を通じて、夢や目標などに向かって挑戦することは決して恥ずかしくないことであり、挑戦することは大切で素晴らしいことだと伝えたいです。勇気を出して挑戦してみてください。あなたの世界は今までとはほど遠い素晴らしいものになります。この学校をより良くするためには、生徒一人ひとりの勇気ある挑戦と心強い協力が必要です。共に充実した学校を創っていきましょう。

今年の同窓会総会・懇親会は2023年7月8日(土)開催予定